

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 7月号

1. CAが梨袋掛けを体験。SNSで米子の魅力を発信

航空会社の副業・兼業制度を利用して、米子市観光協会と雇用契約を結んだ客室乗務員（CA）の2人が6月24日、米子市内の梨園で「二十世紀」と「新甘泉」の袋掛けを体験した。

2人は、CAの視点から地元住民では気がつかない米子市の魅力などを自らが体験し、写真や動画で配信。観光協会のインターネット交流サイト（SNS）で公開し、機内以外で活躍の場を広げている。作業の様子などはFacebookやInstagram、TikTokなどで発信。



2. 災害時の避難所に施設利用。市と協定書締結

米子市とJ A 鳥取西部子会社の鳥取西部ジェイエイサービスは6月20日、米子市役所で「災害時における避難所としての施設利用に関する協定」の締結式を行い、協定書に署名した。

協定は、災害等の発生時に米子市の要請で同社の施設を避難所に利用することが可能な内容である。

ジェイエイサービスの社長は「企業の地域貢献として、米子市とともに地域の防災に協力していきたい。災害有事の際には安心して施設を利用していただきたい」と話した。



3. 県選出の国会議員に農家支援を緊急要請

J A 鳥取西部は6月11日、米子市で自民党の石破茂衆議院議員ら、同県選出の国会議員5人に燃料や肥料などの価格高騰について緊急支援を求める要望書を手渡し、意見を交わした。

ウクライナ情勢の緊迫化で飼料や肥料、燃料などの価格が高騰。農畜産物は値上げ分を販売価格に転嫁できず、農家の経営状況はひっ迫し、持続的な生産基盤の維持が困難な安定生産や営農継続に支障をきたしかねない状況にあり、支援策の検討を求めた。

